

栗老連だより

発行年月日／平成31年4月1日
 発行／栗山町老人クラブ連合会
 総務・研修部
 事務局／栗山町社会福祉協議会内
 電話／72-1322



栗山町高齢者演芸会
 平成30年度高齢者演芸会

三月五日、カルチャープラザ「Eki」において、平成三十年度高齢者演芸会が開催さ



今どんなことが話題講演会
 世の中の課題、問題、わかって問題(おしえて町題)
 「福祉社会をめざして」



参加者約九十四名の方々に、自然災害、人災、人口減少、共生社会、内政・外交の五つの課題や問題について、自分の体験談や歌・楽器演奏などを交えながらユーモア溢れるお話をいただき、会場は終始笑いのたえない講演となりました。

十一月二十六日、カルチャープラザ「Eki」において、栗山ゆりの会常務理事 橘文也氏をお招きして講演会を開催しました。



はじめに、多年にわたり単位老人クラブの役員として会の推進・発展にご尽力された方々に吉田会長より表彰状が贈られました。
 その後、五十一組九十九名の方が舞踊、曲芸、楽器演奏など日頃の練習の成果を披露し、大勢の観客を魅了しました。



栗山町老人クラブ連合会功労者表彰式

【栗山町老人クラブ連合会 表彰受賞者】
 山田 元司様(松寿会)
 古田 幸男様(ひまわりクラブ)
 元田 隆様(中里長寿会)
 吉田 敏男様(北学田喜楽会)
 伝庄 幹弘様(角田白寿クラブ)
 谷口 美博様(日出長生クラブ)

健康づくりパークゴルフ大会



十月三日、生きがいと健康づくりを目的にパークゴルフ大会が開催され、百名が参加、プレイヤーには町健康づくり推進協議会の協力で麦茶を提供して頂き、日頃の練習成果を発揮していました。

男性の部

優勝 柴田 充さん
 準優勝 宮本 良一さん
 三位 新屋 清一さん



女性の部

四位 沼山 一夫さん
 五位 大原 勇夫さん
 優勝 南畑 京子さん
 準優勝 池田 悦子さん
 三位 森 政枝さん
 四位 北山 久恵さん
 五位 阿部美智子さん



レクリエーションのつどい

十月十三日、第四十一回栗山町レクリエーションのつどいが、スポーツセンターで開催されました。今年も町スポーツ推進員の指導を頂き、参加者七十五名は四組に分かれ、男女ペアで行うひらめきスリーヒント、しりとりで仲良く♡や、ザ・ゲートゴルフ、サイコロでビンゴ、玉入れの他、今年も競技の一番最後に盆踊りが行われました。参加者は、軽スポーツを楽しむながら会員の親睦交流を深めました。

チャリティ上映会を開催



十月二日、カルチャープラザ「Eki」において、映画「オケ老人」の上映会が町指定管理業者(株)日東総業との共催により開催されました。
 映画会は、昼と夜の部に二回上映し合計二百名の方々に鑑賞していただきました。
 また、昼と夜の部合わせて二回、栗山高校吹奏楽部による演奏がおこなわれ、会場を盛り上げました。

女性研修会



十一月十六日総合福祉センター「しゃるる」において、日本レクリエーションコーディネーターで北海道介護福祉学校講師 矢野 美恵氏を招き「介護されないための楽しい健康づくり」と題し人生のライフワークや、生涯学習、コミュニケーションについての講演を実施しました。
 参加者五十二名は、話に熱心に耳を傾け、曲に合わせて体を動かしたり、しりとり等で脳の運動をしたりと、笑顔で楽しいひと時を過ごしました。



売上金の一部を、七月豪雨災害と北海道胆振東部地震義援金として、日本赤十字社栗山分區を通じて寄付いたしました。



子ども達とおじいちゃん。
おばあちゃんとの交流会

八月三十一日、空知管内老人のつどいが北竜町公民館で行われ、管内十四町、二百四十名が参加。
始めに老人福祉功労者表彰式が行われ、栗山町から二名



空知管内老人のつどい

が。表彰されました。
中原 篤 様（鳩山長寿会）
柴田 隆雄 様（継立百年クラブ）
続いて、各町からの演芸発表では、今年は緑町新生クラブの太田 タカ子さん、丸山 世津子さん、赤間 弘子さん、古瀬 鈴子さん、喜多村 正子さん、山下 ふじえさん、今 幸子さんによる舞踊「荒城の月」を披露し観客を魅了しました。



秋の全国交通安全運動に併せ、九月二十八日、各単位クラブより六十二名が、交通事故撲滅の願いをこめて栗山公園前の国道二三号線を通過するドライバーに黄色い旗で「シートベルトの着用とスピードダウン」を呼びかけました。
また、十一月十六日には、町内スーパーなど三店舗において夜行反射材を配布し歩行者が交通事故に遭わないように街頭啓発を行いました。



交通安全街頭啓発
『イエロー作戦・夜行反射材配布』

我がクラブ紹介 北学田喜楽会



会長 亀 森 邦 勝
私達の北学田喜楽会は、栗山ダムの下流に位置し純農耕地帯です。

最近、農家の戸数が減少しており、それに伴い会員数も減少し、現在の会員数は四十

八名ですが、実際活動しているのは半数ほどです。
年間の行事を紹介しますと、一月の新年会に始まり、三月総会、四月観桜会、六月公民館の清掃、花壇の花植え、七月と十一月研修旅行（二泊三日）、九月秋祭り前の神社周りの草刈りや清掃、十月観楓会、十二月忘年会、あと月例会では、町の保健師に来てもらい健康体操や各種ゲームで楽しんでいます。
今後については、会員一同健康で元気に楽しく活動していきたいと思っています。

ペットボトルキャップとリングルの選別



段、経験しない事ができ、高齢者の方と交流ができて良かったです。「リングルの選別は大変でしたが、高齢者の方に教えていただき楽しくできました。」と話していました。
ペットボトルキャップは町外の回収業者へ搬入し、福祉事業へ寄付され、アルミ缶のプルタブは、町内旭台の工業団地にあるヘンケルエイブルステイツクジャパン株式会社北海道工場へ受け入れをしてもらい、後に回収量に応じて車いすと交換されます。

車いすの贈呈式

栗山町老人クラブ連合会功労者

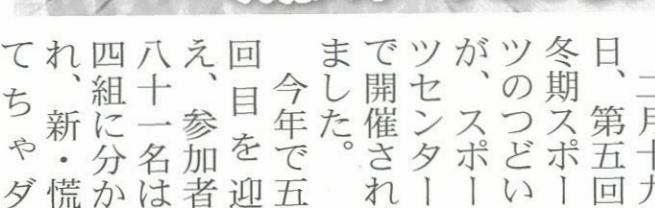


三月五日、カルチャープラザ「Eki」において、平成三十年度高齢者演芸会の席上で車いすの贈呈式がおこなわれました。

ヘンケルエイブルステイツクジャパン株式会社北海道工場と栗山町老人クラブ連合会より栗山町社会福祉協議会へ、平成二十三年、平成二十七年に続き今回で三台目の贈呈となります。

車いすは、社会福祉協議会の福祉用具等貸与事業で活用されます。

冬期スポーツのつどい



二月十九日、第五回冬期スポーツのつどいが、スポーツセンターで開催されました。
今年で五回目を迎え、参加者八十一名は四組に分かれ、新・慌てちゃダメ！、ターゲットプレイ、ペットとお散歩、玉入れ、パン食い競争の軽スポーツを楽しみながら会員の親睦交流をはかりました。

参加した方からは「いい運動が出来て楽しかった」と話されていました。
最後にチームの成績発表があり、順位ごとに景品が渡され終了となりました。

あとがき

今冬は、わが町栗山にとって平成十年以来の大雪に見舞われました。毎日雪投げに追われておりましたが、この間、除雪業者の方には朝早くからの除雪作業に感謝しております。
しかし、硬い雪が半端なく大量に置いて行かれ、降った雪の作業より日頃の運動不足解消と思い、老骨に鞭打ち除雪処理を行い、その成果かは不明ですが一月に行った定期健診では数値が改善されました。けれども、まだまだメタボ解消とはならずこれから雪解けと共に運動不足解消に向け「日々是精進」してカロリー消費に努めたいと思うこの頃です。

総務・研修部会長